

令和7年3月4日

石狩市長 加藤 龍 幸 様

石狩市水道事業運営委員会  
会長 山 田 俊 郎



石狩水道ビジョンの改定について（答申）

令和6年10月30日付け石水営第328号で諮問のあったこのこと  
について、下記のとおり答申する。

記

「石狩水道ビジョン」の改定は妥当なものと判断する。

今後とも、安全で安定した水道サービスを提供し続けるため、本ビ  
ジョンの着実な実施を期待する。

なお、審議概要は別紙のとおりである。



## 【審議概要】

水道ビジョンは、来るべき時代に求められる課題に対処するために策定され、50 年ほど先のあるべき姿を見据え、水道の理想像を実現するため、今後おおむね 10 年間に取り組むべき施策目標を定めた。

策定から 10 年を迎え、水道事業を取り巻く状況は、人口減少、施設の老朽化、震災を踏まえた災害対策など課題が山積している。このため、中長期的な経営の取り組みや財政収支の見通しを明らかにする経営戦略と統合し、合理的かつ効率的な計画とすることで、健全な経営を継続していくために改定するものである。

本委員会は、市から「石狩水道ビジョンの改定について」意見を求められたことから、提出された資料に基づき次のとおり確認した。

- 1 健全な経営を継続していくため、密接に関連する「経営戦略」と統合し、計画期間と見直し時期の同一化により合理的かつ効率的な計画とすることを確認した。
- 2 旧水道ビジョンにおける 6 つの方策体系の現状分析と課題について確認した。
- 3 外的要因及び内的要因に基づく将来の事業環境の予測について確認した。
- 4 旧経営戦略と実績の比較による現在の水道事業の経営状況、計画期間内における事業実施予定及びその財源の考え方を含めた投資・財政計画（収支計画）について確認した。
- 5 取組状況の評価、確認方法及び 4 年毎に見直しを行い目標達成に向けて取り組むことを確認した。

- 6 パブリックコメントは条例に基づき実施され、提出された意見はなかったことを確認した。